

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101465
事業所名	グループホーム楽楽苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域との付き合いを大切にしており、散歩・通勤の際は職員側からの挨拶を心がけている。 小学校の運動会・町内の盆踊りでは招待席も設けられる。 楽楽祭り・納涼祭・AEDの講習会・小学校の体験学習等、地域の多くの方々の来訪がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	出席者・開催回数共に基準をクリアし、出席者からは積極的な意見の出る双方向の会議である。 ホームの行事予定・行事報告・避難訓練等の報告について出席者との意見交換がなされている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議に包括支援センター職員の出席、介護相談員の受け入れによりホームの近況は行政担当者に良く理解されている。 市のグループホーム小部会終了後には必ず役所窓口に出している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族の来訪は頻繁で、日常の来訪、家族会(5月・10月)、運営推進会議等、意見を聴く機会は多くある。 毎月の家族宛の便りで『生活の様子』、『医療面』、『お小遣い』等、利用者の近況を詳細に伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				